

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	教育手法・技術小委員会	主 査 名：阿部浩和 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築教育委員会	委員長名：平田京子
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	教育カリキュラム、教育技術、教育制度など、従来行われている建築教育の基本的な課題・問題について、一般社会の求める視点、教育を受ける側の視点と教育を行う側の視点の幅広い観点から、教育の質の向上を目指した手法や教育技術について調査研究を行う 2019 年度：委員公募、活動計画 2020 年度：事例収集、研究集会 2021 年度：事例収集、研究中間まとめ 2022 年度：研究集会、研究報告書の作成	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 主査：阿部浩和(大阪大学) 幹事：安福健祐(大阪大学) 委員：斉藤理(山口県立大学)、澤田英行(芝浦工業大学)、田村雅紀(工学院大学) 長澤夏子(お茶の水女子大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	BIM 設計教育手法・技術 WG (BIM やデジタルリソースを活用した建築設計やまちづくり、それを社会実装できる人材育成について議論する) 材料教育検討 WG (各教育機関における材料教育の調査、材料施工学生への製造・施工現場を意識したアクティブラーニング、素材マップの作成) 建築教育シンポジウム WG (専門教育、住環境教育、市民教育、並びに教育制度、教育手法など広く建築教育に関する研究、報告を募集し、シンポジウムを開催する)	
2022 年度予算	272,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajij.or.jp/edu/s0/

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回(年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. (名称) 第 22 回建築教育シンポジウム 参加者数：15 名 (資料名) 建築教育研究論文報告集 No.22
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 第 22 回建築教育シンポジウムの企画として伊東建築塾子ども建築塾の式地香織(コドモチョウナイカイ事務局代表)をお招きしパネルディスカッション「建築のまなびを、子どものまなびへ」を開催した。 2. 同シンポジウムでは建築教育に関する応募論文の研究発表として、建築教育、設計教育、子ども教育、市民教育などの発表があり、活発な質疑応答が行われた。これらは当委員会の対外的意見表明である。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	建築教育シンポジウムを開催し、建築専門教育、住環境教育、市民教育、並びに教育制度、教育手法など広く建築教育に関する研究成果が得られた。
委員会活動の問題点・課題	WG 数は少ないが、その活動は活発で充実していた。